

# 満福通信

まんぶくつうしん

短い夏が終わって、近頃は台風が各地に被害をもたらしています。各地で被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 経営判断の拠り所

当社の経営コンサルティングは、これからを見据えた企業の目的や存在意義を問うところからスタートします。それを経営理念として定義または再定義し、企業文化として醸成するサポートを通じて、100年後も続く会社を一社でも多く増やすことです。売上拡大や人材育成などは副次的な要素であり、そういう意味では、当社は全業種業態を通じて共通する持続可能性の追求という普遍的な

テーマを扱っています。さて、経営理念といえ、企業の目的や存在意義を含めて、社長の経営判断や社員の行動判断の拠り所となるものです。100年後も続く会社である為には、この経営理念が正しく定義され機能している必要があり、それによって人や地域から必要とされ続けることができると思うのです。私は、そのベースとなるものは武士道にあると思っています。先月ご紹介した稲盛

和夫さんは「人として何が正しいか」を判断基準にしているそうで、これは武士道でいう「義」に他なりません。もう一つ大切なのが「勇」です。「義を見てなさざるは勇なきなり」というように、「義」を実現するためには「勇」が欠かせません。世界中の経営者が今なぜ武士道に注目しているのかと言えば、そこに、人として、リーダーとしてあるべき姿、判断基準を求めていることだと思うのです。(太)

## ラジオ出演

所属する八王子商工会議所に御紹介頂き、FM 星空ステーションのラジオ番組「そんな感じでサタデーナイト」(毎週水曜21:30～、再放送毎週日曜7:30～)に出演することになりました。そして先日、その収録をして参りました。オンエアは10月2日(水)夜21時半(再放送は10月6日(日)朝7時半)からです。「サムライ社長」としてご紹介いただき、会社のことやこの夏から秋に新しく企画したサムライ・ニンジャ・デリバリー「武相衆」と地域密着型小規模交流会「ブカツ(武州活動)」についてメインでお話して来ました。MC-Kさんとの掛けで楽しくあっという間に時間が過ぎ、同席した商工会のY氏やMC-Kさんからは声もいし話も上手とお褒めの言葉をいただきましたが、どんな放送になるのかドキドキしています。八王子のローカルラジオ番組ですが最近では便利になったもので、インターネットさえ繋がれば誰でもどこからでも視聴可能です。スマートフォンからはListen Radioアプリをダウンロード。その他番組公式サイトやポッドキャストからも視聴可能です。放送後は当社WEBサイトからも視聴できるように致します。どうぞお楽しみに。(太)

## ようこそ太仁亭へ!

2年前から自家製のアイスキャンディを楽しんでいます。お豆ちゃんが成長して外の世界が広がるにつれ、この世の中にはどうやらものすごく甘くて美味しいものがあるようだと思認識し始めました。けれど、過剰な砂糖と添加物はなるべく避けたいとの思いから、自家製のアイスキャンディを作ることに。私が子供時代にもアルミ製の細長いアイスキャンディ容器で母がジュースやカルピスを凍らせてくれました。懐かしい思い出です。さて、様々なレシピを参考に試作しましたが、お豆ちゃんはどうな試作品も毎回喜んで食べます。しかし、まだまだ改良の余地ありと試行錯誤した結果、太仁亭特製

の美味しいアイスキャンディが出来上がりました。いつも同じレシピですが、いつ食べても本当に美味しく幸せになります。

### ☆マンゴーとバナナのアイス☆

材料:マンゴーピューレ250g、完熟バナナ(大)3本  
甘酒大きさ5~7、塩麴小さじ1  
柑橘の搾り汁(若しくは好みの酢)大きじ1  
作り方:マンゴーピューレ以外の材料をジューサーでトトロロに。マンゴーピューレを加えてブレンドし、容器に入れて凍らせる。

マンゴーピューレは、試行錯誤している時期に某コーヒーファームの店頭で見つけたマンゴー100%のピューレです。(仁)

## 日本刀から生まれた言葉達-6「利鞘を得る」

鞘とは刀を納めるケースのこと。戦場では鞘を差したまま戦っていると、鞘を掴まれ体勢を崩されたところを殺されるということもある為、鞘を捨てるが多かったそうです。その為戦場には遺体と共に鞘が転がっていることも多く、近所の農民などは鎧甲冑と共に鞘を拾っ

て町の古道具屋へ売りに行く慣習があったとか。鞘を売って利があったということで売上の差額によって生じる利益を意味する「利鞘」の語源となったという説があります。一般的には「売上の差也(売買によって生じる差の事)」に「鞘」が当てられたとされています。(太)

## 今月のお豆ちゃん

夏の終わりのお楽しみは、祖父母が暮らす多摩ニュータウンの団地祭。2歳の夏に初めて参加して魅了され、今年も指折り数えて楽しみにしていました。一番のお楽しみはかき氷でしたが、今年は山車の曳き回しにも参加。「この縄を一回でも持てばお菓子がもらえるよ」の一言で炎天下を頑張って歩くことに…。祖父は法被を借りて走り、無言で歩き続けたお豆ちゃんは遂にお菓子を手に入れました。(仁)



## アカネ

8月某日。畑からの帰り道にアカネを見つけました。茜色の染料になる植物です。探してみると意外とどこにでも自生していると染色の師から聞いたので、長い事探していたのですが、遂に出合えてあまりにも驚いて一瞬時が止まりました。四角い茎に下向き棘のようなザラザラ、輪生している四枚の葉はハート形、根元を少し掘ると赤い根…本物のアカネだ。感動。夏の先を少し採取して挿し芽にしたところ、うまく根付いたようです。(仁)

## 編集者: 後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日: 2019.9.16 白露 (はくろ)

鶴鶴鳴 (せきれいなく)

発行所: 株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

<https://ccore.co.jp/>

過去号: ウェブサイト1からご覧頂けます。

CONCEPTCORE